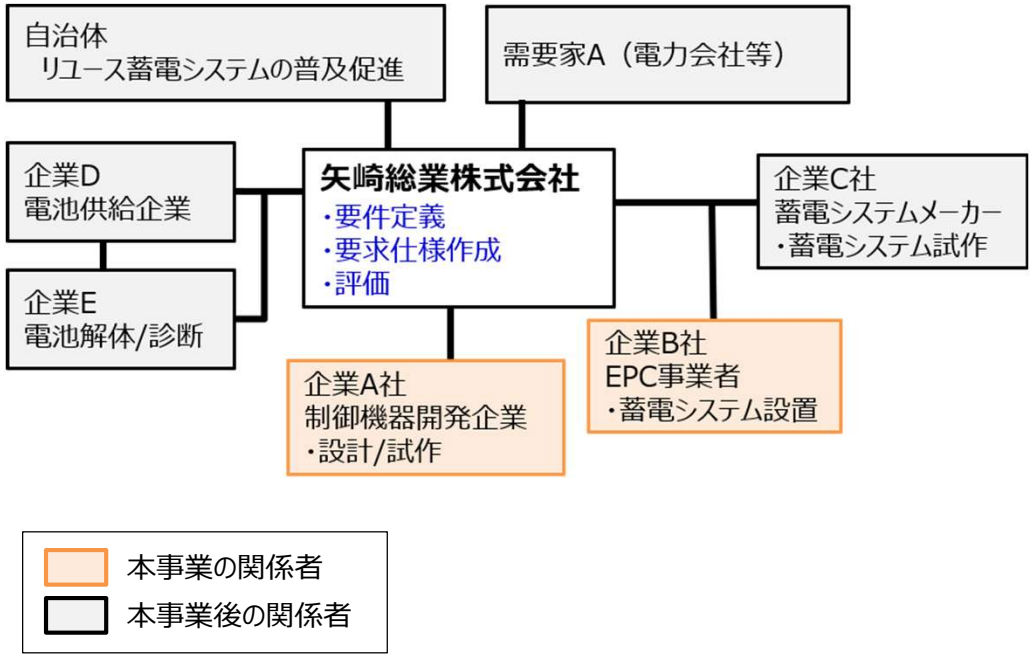
間接補助事業の名称：リユース蓄電システムに搭載するシステム製品の開発及び製品成立性の実証

＜事業概要＞

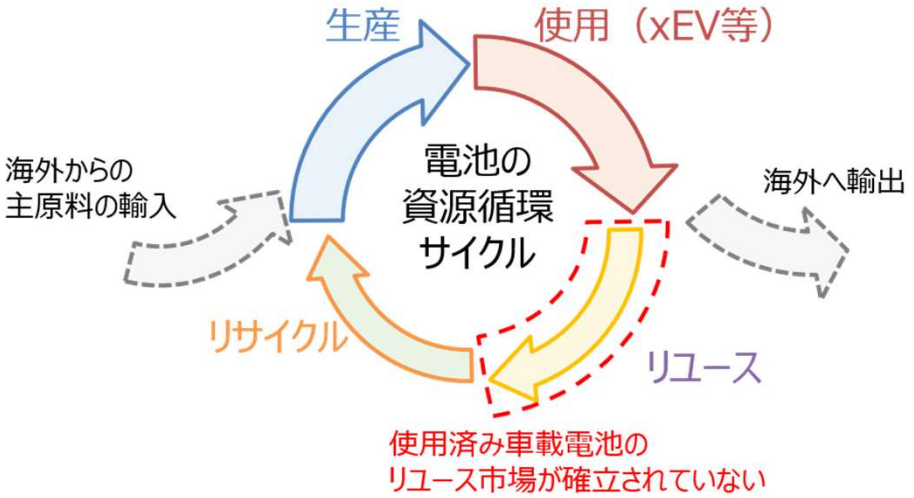
車載使用済み電池を効果的に定置用蓄電システムにリユースする為のシステム製品の開発、及び製品成立性の実証。
現状、xEVとして使われた電池は、リユースに回らず、大半が海外へ流出しており、資源が国内に留まらない状況がある。その背景として、再利用における課題である、使用履歴の違いに起因する電池性能のばらつきによる再利用の困難さにより、リユース市場が確立していない実態がある。本事業では、独自の制御アルゴリズムを用いた高精度な電池状態推定技術の確立により課題解決し、日本国内における使用済み車載電池のリユースを促進する。これにより、日本国内でのリユース市場拡大に寄与し、中古電気自動車及び使用済み車載電池の海外流出を抑制し、資源安全保障に貢献することを目的とする。

＜実施体制図＞

■実施体制



■本実証を通じて目指す社会



本事業の成果を社会実装することによって、使用済み車載電池のリユースを促進します。リユースの促進が資源循環サイクルの促進に繋がり、更には資源安全保障にも貢献します。